

2022年6月26日(日)

しゅうほう

教会標語

日本キリスト教団 **久宝教会**

週報

かみさまひととも
神様がすべての人と共におられる
あかしきょうかい
ことを証ししていく教会

第65巻第11号(通算3293号)

教会設立 1959年6月14日

主任担任教師・牛田 匡 牧師

ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

【連絡先(牛田)】090-9161-4027

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

kyuho-church@koinonia.or.jp



【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切に神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマ 5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい
聖霊降臨節 第4主日礼拝

れいはい ちゅうけいはいしん
《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも
しちょう ばしょとも れいはい
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

ぜん そう もくとう ちよさくけんしやうめつ
前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん へん せつ
招きの詞 詩編 32編 1-2節

さんびか ばん ひかり やみ きやうだんさんびかいいんかい
賛美歌 21-511番「光と闇とが」(©教団讚美歌委員会)

せいしよ しとげんこうろく しやう せつ
聖書 使徒言行録 16章 16-24節

いの
お祈り

さんびか ばん きやうだんさんびかいいんかい
賛美歌 21-402番「いとともとうとき」(©教団讚美歌委員会)

ほんとう かち うしだ だし ぼくし
メッセージ 「本当に価値のあるもの」 牛田 匡 牧師

さんびか ばん うつく てん ち つく ぬし ちよさくけんしやうめつ
賛美歌 21-514番「美しい天と地の造り主」(©著作権消滅)

しゅいの ばん てん わたし ちち きやうだんさんびかかいていいんかい
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

たんじやうしやしゅくふくしき うしだ だし ぼくし
誕生者祝福式(*) 牛田 匡 牧師

ささげもの
献げ物(**)

はけん ばん かみ めぐ う せつ
派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく うしだ だし ぼくし
祝福 牛田 匡 牧師

こうそう ばん ちよさくけんしやうめつ
後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©著作権消滅)

ほうこく ページ さんしやう
報告 (4頁をご参照ください)

となり かんかく せき すわ れいはい さんか
《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

* みんなで6月生まれの方(と今年度6月までにお生まれの方)を祝福いたします。ご遠慮なさらず、どなたでもお申し出ください。

* * 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

まね ことば
招きの詞 詩編 32 編 1-2 節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

- ¹ 幸いな者／背きの罪を赦され、罪を覆われた人。
² 幸いな者／主に過ちをとがめられず、その靈に欺あざむきのない人。

聖書 使徒言行録 16 章 16-24 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

¹⁶ 私たちは、祈りの場に行く途中、占いの靈に取りつかれている女奴隷に出会った。この女は、占いをして主人たちに多くの利益を得させていた。¹⁷ 彼女は、パウロや私たちの後ろに付いて来てこう叫ぶのであった。「この人たちは、いと高き神の僕しもべで、皆さんに救いの道のを宣べ伝えているのです。」¹⁸ 彼女がこんなことを幾日も繰り返すので、パウロはたまりかねて振り向き、その靈に言った。「イエス・キリストの名によって命じる。この女から出て行け。」すると、靈は即座に彼女から出て行った。

¹⁹ ところが、この女の主人たちは、金儲けの望みがなくなってしまったことを知り、パウロとシラスを捕らえ、広場の役人のところに引き立てて行った。²⁰ そして、二人を^a高官の前に引き出してこう言った。「この者たちはユダヤ人で、私たちの町を混乱させております。²¹ ローマ人である私たちが受け入れることも、行うことも許されない風習を宣伝しているのです。」²² 群衆も一緒になって二人を責めたので、高官たちは、二人の衣服を剥はぎ取り、鞭むちで打つように命じた。²³ そして、何度も鞭で打ってから二人を牢に入れ、看守に厳重に見張るように命じた。²⁴ この命令を受けた看守は、二人をいちばん奥の牢に入れて、足には木のあしかせ足枷をはめておいた。

(脚注 a：別訳「二人委員」)



《先週のメッセージより》2022年6月19日礼拝メッセージ

「ここで何をしているのか」より

岡嶋千宙伝道師

聖書 列王記 上 19章 8-15節

イスラエルの神ヤハウエに仕える預言者として、異教の神々を信じる者たちと争ったエリヤ。圧倒的に不利な状況にありながら、火を降らせるという奇跡によって、自分の信じる神こそが真であることを証明したエリヤは、敵対する者たちを捕らえて殺害しました。その数、800人以上（列王上18章）。後にエリヤは、「非常に熱心に神ヤハウエに仕えてきた」（列王19:10,14）と語りますが、その言葉に偽りはないのでしょうか。ですが、その熱心さのゆえに、自分の命が狙われることになると、エリヤの態度は一転します。堂々と敵の前に立ち、臆することなく自分の信仰の正しさを主張した姿は影を潜めます。敵の手を逃れて異国の地に避難し、それだけでは満足せず、人目のつかない山中の洞穴に身を隠したのです。逃亡先の洞穴で、一人うづくまるエリヤに届いた神の言葉。「あなたはここで何をしているのか」（列王19:9,13）

敵対する預言者たちと争った際、エリヤが天から火を降らせたの見て、人々はその火に神が臨んでいる、と感じました（列王上18:39）。ですが、本日の御言葉には「火の中に神はいなかった」（列王上19:12）と記されています。人を驚愕させて、心を揺さぶり、人々や環境を劇的に変える力を持つモノ。神が臨むのは、そこではありません。疲れ果てた人がもうこれ以上動くことができなくなったとき、自分の命を続けさせる気力がなくて、ただ一人うづくまるだけしかできなくなった場所や場面。そこに響く神の言葉。「ここで何をしているのか。」そして、「出て来て、わたしの前に立ちなさい」（列王上19:11, cf.15）

洞穴から出るようにと促した神。そこから出て、神の前に、また、人々の前に入るように促した神。関係性の回復。神は、回復された関係の中に、再びエリヤを生きさせます。そして、エリヤが、わたしたちが、その関係の中にこそ神がいることを知れるように、一人ひとりを導いてくれるのです。ときに、一人になれる場所、自分自身と向き合える場所へと逃れ、そこで癒され、再び一歩を踏み出せるようになったら、出向いて人々と触れ合い、また戻ってきて留まり。教会という場が、そのような場であるように。教会の真ん中に、神が臨んでくれるように。これからの一週間、みなさまと共に、そのための歩みを進めていきたいと願います。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 6月19日

主日礼拝出席 大人 5名 中継動画再生数 9回
献金 大人 5,000円 感謝



◎次週 2022年7月3日(日) 聖霊降臨節第5主日礼拝

招きの詞 詩編 30編 12-13節

聖書 列王記 下 5章 1-5, 9-14節

メッセージ「少女の言葉、少年の体」岡嶋千宙伝道師

賛美歌 21-577番(©P.D.)、21-567番(©讚美歌委)、21-415番(©JASRAC)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。

◎お知らせ

- ・本日の礼拝後には、釜ヶ崎支援のための「おにぎり作り」を行い、いこい食堂にお届けします。どなたでもご参加ください。お米や梅干しを献品して下さいました皆様、どうもありがとうございました。
- ・本日 13時半～、河内地区有志教会婦人会が、ZOOM を利用したオンラインの集まりとして開催されます。地区6教会の現状をお互いに聞か合います。どなたでもご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染は依然として続いています。ご自身の感染予防のためにも、他人に感染させないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。
- ・6月28日(火) 18時半～20時半に「戦争をゆるさない東京キリスト者の会」の記念講演会が、ZOOM にて開催されます。

講演は「1300発の核の島から」で、講師は金井創さんです。どなたでもご参加ください。参加費は無料、事前申込も不要です。

当日、右のQRコードもしくは、

ミーティングID: 869

296 4916 とパスコード

32098366 を直接 ZOOM

に入力頂いて、ご参加ください。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
7/3	岡嶋伝道師	ユーカリスト?・教会を考える会?
7/10	牛田牧師	部落解放祈りの日
7/17	牛田牧師	聖書を読む会?
7/24	牛田牧師	おにぎり支援

ゆるキリ

information

【第7回総会&記念講演会】 ※参加無料

●日時: 2022年6月28日(火)
午後6時30分～8時30分 Zoom

●講演: 「1,300発の核の島から」

●講師: 金井創 (日本キリスト教団 佐敷教会
/抗議船「不屈」木乃葉蝶 船長)

●メッセージ: もちろん、今は沖縄に核兵器は無いことになっています。かつてピーク時には1,300発もの核兵器が沖縄に置かれていたことは、2017年というごく最近になってやっと明らかにされました。しかし、ニクソン-佐藤の核密約は生きています。有事の際には沖縄に核が持ち込まれるのは規定の方針ですし、いま本当に無いのか、おおいに疑問です。南西諸島への自衛隊配備、防衛予算の増大など、日本は軍拡競争に足を踏み入れてしまっています。沖縄が再び戦場になることを政府は具体的に想定しています。そういう状況だからこそ非暴力の取り組みが必要だし、意義があるのだと体験を通して実感しています。そんなことをお話したいと思います。

【問い合わせ】 TEL 03-3209-8366 (早稲田教会)
mail yurukiri-S@googlegroups.com

●ゆるキリZoomミーティング(オンライン開催)

事前申し込み不要。

以下のIDとパスコードか、右のQRコードからご参加ください。

○ミーティングID: 869 296 4916
○パスコード: 32098366

